

リンクスの 事業再生現場

レポート 第38回



(株) リンクス

宇都宮市西一の沢町8-22 栃木県林業会館5F
TEL: 028-634-5088
Mail: info@rincs.biz
URL: http://www.rincs.biz/

【変化の年】

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

改めて昨年を振り返ってみますと、中小企業を取り巻く環境は厳しい状況が続いていたと感じます。ところが、昨年末から円安・株高傾向が続いており、長らく悩まされてきた円高・デフレからの脱却の兆候が見え始めています。行き過ぎた円高の是正が契機となり、2013年が景気回復のスタートの年となることを期待します。

2013年、我々中小企業も景気回復の波に乗りたいところですが、乗り越えなければならない壁が二つあります。一つは、再三お伝えしています金融円滑化法の終了です。ここへ来て円滑化法終了に合わせた新たな動きがありましたのでお知らせしておきます。

年末押し迫った12月28日の下野新聞にて目にされた方も多いと思いますが、県内金融機関が中心となり、20億円規模の中小企業再生ファンドの設立が検討されています。過剰債務に苦しむ中小企業にとっては願ってもない施策です。

また、政府は中小企業の経営再建を支援するために「地域活性化支援機構」(仮称)を4月に設立する方針を固めました。官民出資のファンド「企業再生支援機構」を衣替えし、地域金融機関と連携して地域経済の実情に合わせた再建を支援するのが狙いであり、中小企業対象の再生ファンドに出資する形で、経営再建を後押しす

るようです。国と地域の連携により、金融円滑化法終了後の支援策が形となりました。

二つ目の壁は、消費税増税前の駆け込み需要です。消費税が2014年4月に5%から8%へ、2015年10月には10%への引き上げが予定されており、増税前の駆け込み需要による急激な売上増加は、資金繰りへ与える影響が懸念されます。

デフレ下での守りの経営から、景気回復局面での攻めへの転換、それに加えて消費税増税前の駆け込み需要は、増加運転資金需要が発生します。本来であれば金融機関からの調達で乗り越えられる壁ですが、リスクから抜け出せずにいる中小企業にとっては、大きな壁となることが予想されます。

歴史を振り返ってみますと、日経平均株価が10,000円を超えた1984年に戦後最多の倒産件数を記録しています。第二次石油危機後の長期不況からの転換期に、いわゆる「黒字倒産」が増加したのです。

景気回復は大いに期待します。ですが、我々中小企業としては、回復ムードに浮かれることなく、経営のコントロールが必要となります。変化をピンチにするも、チャンスにするも、経営戦略とそれを実行する組織力次第です。変化に対する経営手腕が問われる1年となるでしょう。



〈著者プロフィール〉

代表取締役社長 佐藤 正人

昭和37年生まれ、大田原高校、新潟大学卒。

昭和60年足利銀行へ入行後、営業店、審査部門を経て平成16年退社。

在職中の事業再生の経験を活かし、平成18年栃木県で初めての事業再生専門のコンサルティング会社である(株)リンクスを設立し代表者に就任。以来地元中小企業の多くの事業再生を行っている。